

救急車両をモンゴル国に

市では、消防本部において車両更新のため廃車とした救急車両を、モンゴル国より譲渡の申し入れがあったため寄贈しました。今後は、同国ウランバートル市バヤンズルフ区においての救急活動に用いられます。



問い合わせ
消防本部総務課 ☎38-2095

11月9日～15日

秋季全国火災予防運動

これからは、火災が発生しやすい季節になります。火災の防止や高齢者等死者の減少、また財産を守るため日ごろから対策を考えておきましょう。新築住宅については平成十八年六月一日から、既存の住宅は五年以内に住宅用火災警報器等の設置・維持が義務付けられています。

問い合わせ 消防本部予防課 ☎38-2098

全国統一防災標語
「あなたです 火のある
くらしの 見はり役」

住宅火災の防火対策

火災から、いのちを守る
7つのポイント
寝たばこは、絶対にやめる。
ストーブは、燃えやすいものから離す。
ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器等を設置する。

寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製品を使用する。
火災を小さいうちに消すために、住宅用火災警報器等を設置する。
お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

放火火災・連続放火火災予防対策
放火による火災は、平成九年以降連続して出火原因の第一位を占め、依然として増加傾向にあります。また、昨年末に発生した大規模店舗の火災も放火であったことを念頭に置いて、放火火災の防止対策をよりいっそう積極的に推進しています。

放火されにくい環境づくり
燃えやすいものを家の周囲に置かない。

地震発生時における出火防止対策
阪神・淡路大震災等の教訓を踏まえた出火防止対策

阪神・淡路大震災時の火災は、地震発生直後ばかりでなく、翌日や翌々日にも発生しています。こうした経験を念頭に置き、日々の出火防止に努めましょう。

火気使用設備・器具や電気器具の特性を踏まえた出火防止対策
地震に伴う火災発生原因は、石油ストーブ、ガスコンロ、電気ストーブ等の機器本体が発火源になることに加え、漏れた可燃性ガスへの引火や破損した電気配線の短絡による出火等が想定されます。

これらの設備・器具については、適切に維持管理してください。また、家具類の転倒・落下によるケガや避難路の閉鎖を防止するため、家具類の転倒防止措置をおきましょう。

電話機のそばに自宅の場所や電話番号など必要事項を書いたメモを貼っておくなど、落ち着いて正確な通報ができるよう心がけましょう。

火事か救急の別 「火事です」または「救急です」とはっきりいう。
発生場所 住所は正しく、詳しくいうこと。
目印になる、ビルや公園などを伝える。
火事・事故等の状況 火事・事故等の状況を正確にわかりやすくいうこと。
通報者の氏名・連絡先 「私の名前は、です」「電話番号は、です」

「いざ」というときのために、定期的に訓練を実施しましょう。
訓練指導は随時受け付けています。防火指導や応急手当指導についてもお気軽に相談ください。

消防訓練等の推進
市ホームページ・消防コーナリ掲載の「住宅防火対策」をご参照ください。

電話機のそばに自宅の場所や電話番号など必要事項を書いたメモを貼っておくなど、落ち着いて正確な通報ができるよう心がけましょう。

電話機のそばに自宅の場所や電話番号など必要事項を書いたメモを貼っておくなど、落ち着いて正確な通報ができるよう心がけましょう。

11月9日は「119番の日」

問い合わせ
消防本部通信装備担当 ☎32-2345

携帯からの119番通報

十一月十五日以降、市内から携帯電話で一八九番をすると芦屋市消防本部につながるようになります。携帯電話で一八九番をするときは、災害場所の市町名、氏名、携帯番号をお知らせください。市境では、アンテナ設置位置の関係で他都市に入る場合があります。

市民ギャラリー・ステージ

《11月のギャラリー》 会場:市民センター
多目的ホールA 同B 301(302室)
3日～6日
芦屋カメラクラブ展 三条コミスク
図工クラブ作品展 美芦の会作品展
7日～11日
デジカメ作品展 ACパソコン倶楽部
デンタルフェア 芦屋川カレッジ学友会美術展

《11月のステージ》 会場:ルナ・ホール
3日(祝・木)午前11時30分～
第55回芦屋三曲協会演奏会
5日(土)午後0時30分～
各流邦舞大会
6日(日)午前11時～
第33回民謡・新舞踊大会
12日(土)午後1時～
ASAミュージカル第21回公演
13日(日)正午～
第40回芦屋合唱祭

問い合わせ 文化振興財団 ☎31-4962

第4次芦屋すこやか長寿プラン21

予防重視型システムへの転換
「明るく活力ある超高齢社会」を目指し、一貫性・連続性のある総合的な介護予防システムを確立する
新たなサービス体系の確立
認知症ケアや地域ケアを推進するため、住み慣れた地域で地域の特性に応じた多様で柔軟なサービス提供を可能とする体系の確立を目指す
サービスの質の向上
情報開示の標準化、事業者規制の見直し等を行う
負担の在り方・制度運営の見直し
低所得者に配慮した保険料設定を可能とするとともに、市の保険者機能の強化等を図る

第4次芦屋市高齢者保健福祉計画および第3期介護保険事業計画中間報告書の保持、介護保険制度の持続可能性を高め、ためるための取組を進め、中間報告を行いました。

市民説明会(事業計画の詳細説明)日程

| | 午前10時～11時30分 | 午後2時～3時30分 |
|-----------|--------------|------------|
| 11月14日(月) | 浜風集会所 | 大原集会所 |
| 11月15日(火) | 陽光市営集会所 | 西蔵集会所 |
| 11月17日(木) | 潮見集会所 | 朝日ヶ丘集会所 |
| 12月3日(土) | | 市民センター401室 |

問い合わせ
高齢福祉課 ☎38-2046

まちづくり懇談会を開催します

芦屋市自治会連合会が主催する「まちづくり懇談会」が各中学校校区ごとに開催されます。この懇談会では市民と市長以下市の幹部、警察署などの行政機関が、市政に関する身近な問題について懇談します。市民の声をまちづくりに反映させ、市民参画・協働のまちづくりを推進していきます。

潮見中学校校区の市民の皆さん
日 時 11月15日(火)午後2時～4時
会 場 芦屋浜管理センター大会議室
精道中学校校区の市民の皆さん
日 時 11月16日(水)午後2時30分～4時30分
会 場 宮川小学校コミュニティ・スクール室
山手中学校校区の市民の皆さん
日 時 11月17日(木)午後2時～4時
会 場 市民センター401室

問い合わせ 芦屋市自治会連合会事務局
(市民参画課内) ☎38-2007

ソプラノ豊田喜代美 うたいつく心の歌

日時 11月18日(金)午後7時開演(午後6時30分開場) 会場 ルナ・ホール 出演 豊田喜代美(ソプラノ)、小坂圭太(ピアノ)、芦屋少年少女合唱団(合唱) 入場料 3,000円(当日3,500円)、前売18歳未満および障がい者のかた2,500円(当日3,000円) 未就学児は入場・同伴できません。チケット発売 モンテメール大蓄、市役所売店、ローソンチケット、チケットぴあほか

問い合わせ
文化振興財団 ☎31-4962

幼稚園ってどんなところ?



二学期始めは、毎日バツ取り。草むらに数人が寄り添い必死で探す姿。「あ!おんぶバツ」!「しょうりょうバツがとんだ!」と追いかけて、発見に一喜一憂します。子どもたちは興味あることに心寄せ、キラキラ・クルクルと表情が動きまわります。この子どもたちの動きやつぶやきを先生たちは見逃さないように努力します。子どもたちの心に共感し、思いを同じくしたり、時に考え合う場をもつたりしながら、はぐくんでいきます。

運動会に「リズム表現」というプログラムがあります。これは、お話を聞いてイメージを広げ、一人一人が自分の思いをリズムに乗せて表現するという遊びです。岩園幼稚園では今年、年少組が「ぎろんやまとびきのかえる」、年長組が「みなみのうみのどうしつがに」というお話で遊んでいます。二つのお話の中に流れている心は、仲間を思う心です。この心を身体表現遊びを通して実感させていくのです。一人一人の子どもがどんな思いをもつのか、理解しているのか、どう遊んでいけば実感するのかなど先生たちは子どもとの内面活動をつかみ、試行錯誤して子どもと遊んでいきます。こうした遊びを通して子どもたちが互いの思いに共感したり、わかり合ったり助け合ったりしながら、優しい気持ちや強い気持ちを育てることが「リズム表現」のねらいなのです。

園庭から子どもたちの声が聞こえています。年長組のリレーごっこが始まり。ハチマキをしてパトンを持って、とてもりりしい格好で、四組に分かれ真剣勝負。幼稚園の子どもたちはいつでも「今が旬」です。

学校教育課 ☎38-2037